

玖珠川の治水対策が復興のカギ

日隈市議は8日、天ヶ瀬温泉街の住宅再建やなりわい再建の進み具合と玖珠川流域の治水対策を質問しました。住宅の建設や補修の申請が19件、なりわい再建の申請が9件と遅れています。

した。

天ヶ瀬温泉街の旅館や店舗などの被害件数は53件で、その被害額は約13億円に上っています。なりわい再建補助金を県に申請済みは9件、これから申請は12件です。商工観光部長は、申請が少ない原因について、①事業再建の検討に時間がかかっている、②復旧経費の見積書作成に時間がかかっている、③保険査定に時間がかかっている、④被害の程度によっては自己負担で復旧すべきかなど、検討していると説明しました。

土木建築部長は玖珠川の治水対策について、「河川改修のみでは浸水対策に限界があり、上流域からの流出量を抑える対策の検討も必要。先月、玖珠、九重両町長とともに知事に対し、抜本的な治水対策に取り組んでいただくよう要望した」と答弁しました。

住宅・なりわい再建 始まったばかり

天ヶ瀬温泉街
復旧・復興

被災者住宅再建支援金の申請状況

	申請件数	うち全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水
基礎支援金	75件	18件	16件	26件	15件
加算支援金	19件（建設購入1件、補修18件）				

なりわい再建補助金の申請状況

被災件数	うち申請済み	申請予定	検討中または廃業予定
53件	9件	12件	32件

被災家屋解体・撤去支援事業の申請状況

相談件数	うち申請済み	現地立会い	市外在住で対象外
45件	3件	26件	10件

※すべて11月末現在の申請状況。

住宅の被害の程度に応じて支給される基礎支援金の申請件数は75件。そのうち、床上浸水を除く60件は、住宅の再建方法に応じて加算支援金を申請できます。しかし申請済みは19件です。福祉保健部長は「住宅再建が大きな決断をとまうことや、仮設住宅などの入居期間が残っていることなどから、申請が少ないと思われ」と説明しました。

少人数・分散避難が重要

コロナ禍の
住民避難

公民館など自主避難所は住民まかせと指摘

日隈市議は8日、「コロナ禍で少人数・分散避難が重要」と指摘し、公民館など自主避難所の運営と備えについて、市の取り組みをただしました。

市は災害に備えて指定避難所を決め、避難所開設のときの職員配

置や準備するもの、避難所運営マニュアルを決めています。

総務部長は「自主避難所は、自治会の協力を得て約400カ所ある。自主避難所の運営は、地域住民のみなさんにお願しているのみで、その方法について何ら示していない」と現状を説明しました。「今年度、コロナウイルスなどの感染症対策を含め、各地区や自主防災組織などで自主避難所の運営に必要な手順や備えるべき物

品など、基本的な事項をまとめた避難所マニュアルの作成を進めている」と答えました。また、「自主避難所を運営する際に必要な備品、食料などの備蓄品の購入は、市の助成金制度を活用してほしい」と述べました。

日隈市議は、10月に東京で行われた研修会に参加し、講師の跡見学園女子大学の鍵屋一教授から防災スタートBOXを紹介され、「災害時に役立つ」と話しています。自身は、災害発生後すぐに初動対応の指示が出せる指示書、トランシーバーなど防災情報機器、マジックなどの防災文具とです。



市の取り組みをただす日隈市議(8日)